A 試験概要

1　令和８年度大学入学共通テスト実施日程

〔志願者〕　〔大学入試センター〕

共通テスト出願サイト　マイページ作成
7月1日（火）10：00～10月3日（金）17：00

受験上の配慮の申請（希望者のみ）【郵送】
7月1日(火)～10月3日(金) 必着
（又は 10 月 1 日（水）（消印有効））

出願

出願内容の登録
9月16日（火）10:00～10月3日（金）17:00
検定料等の支払い
9月16日（火）10:00～10月3日（金）23:59

→ 出願受付

出願内容の確認
（必要に応じて訂正）
10月10日（金）10：00～10月17日（金）17：00

受験票の取得・印刷
12月10日（水）10：00～

大学入学共通テスト（本試験）
令和**8**年**1**月**17**日（土）・**18**日（日）

正解等の発表　1 月 17 日（土）・18 日（日）

平均点等の中間発表　1 月 21 日（水）予定

得点調整実施の有無の発表
段階表示換算表の発表
1 月 23 日（金）予定

追試験
令和 8 年 1 月 24 日（土）・25 日（日）

正解等の発表　1 月 24 日（土）・25 日（日）

平均点等の最終発表　2 月 5 日（木）予定

成績の閲覧（出願時に希望した者のみ）
4月1日（水）10：00～4月30日（木）23：59

共通テスト出願サイト　マイページ利用期間終了
令和8年4月30日（木）23：59

2　出題教科・科目等

教科	グループ	出題科目	出題方法 （出題範囲，出題科目選択の方法等） 出題範囲について特記がない場合，出題科目名に含まれる学習指導要領の科目の内容を総合した出題範囲とする。	試験時間（配点）
国語		『国　　語』	・「現代の国語」及び「言語文化」を出題範囲とし，近代以降の文章及び古典（古文，漢文）を出題する。	90 分(200 点) **（注１）**
地理歴史 公民		『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』 『公共，倫理』 『公共，政治・経済』 →(b) 『地理総合／歴史総合／公共』 →(a) (a)：必履修科目を組み合わせた出題科目 (b)：必履修科目と選択科目を組み合わせた出題科目	・左記出題科目の 6 科目のうちから最大 2 科目を選択し，解答する。 ・(a)の『地理総合／歴史総合／公共』は，「地理総合」「歴史総合」「公共」の三つを出題範囲とし，そのうち二つを選択解答する（配点は各 50 点）。 ・2 科目を選択する場合，以下の組合せを選択することはできない。 (b)のうちから 2 科目を選択する場合 『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せを選択することはできない。 (b)のうちから 1 科目及び(a)を選択する場合 (b)については，(a)で選択解答するものと同一名称を含む科目を選択することはできない**（注２）**。 ・受験する科目数は出願時に申し出ること。	1 科目選択 60 分(100 点) 2 科目選択 130 分**（注３）** （うち解答時間 120 分） (200 点)
数学	①	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅰ』	・左記出題科目の 2 科目のうちから 1 科目を選択し，解答する。 ・「数学 A」については，図形の性質，場合の数と確率の 2 項目に対応した出題とし，全てを解答する。	70 分(100 点)
	②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』	・「数学B」及び「数学C」については，数列（数学B），統計的な推測（数学B），ベクトル（数学C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学C）の 4 項目に対応した出題とし，4 項目のうち 3 項目の内容の問題を選択解答する。	70 分(100 点)
理科		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物　　理』 『化　　学』 『生　　物』 『地　　学』	・左記出題科目の 5 科目のうちから最大 2 科目を選択し，解答する。 ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は，「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つを出題範囲とし，そのうち二つを選択解答する（配点は各 50 点）。 ・受験する科目数は出願時に申し出ること。	1 科目選択 60 分(100 点) 2 科目選択 130 分**（注３）** （うち解答時間 120 分） (200 点)
外国語		『英　　語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中 国 語』 『韓 国 語』	・左記出題科目の 5 科目のうちから 1 科目を選択し，解答する。 ・『英語』は「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」を出題範囲とし，【リーディング】及び【リスニング】を出題する。受験者は，原則としてその両方を受験する。その他の科目については，『英語』に準じる出題範囲とし，【筆記】を出題する。 ・科目選択に当たり，『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』の問題冊子の配付を希望する場合は，出願時に申し出ること。	『英語』 【リーディング】 80 分(100 点) 【リスニング】 60 分**（注４）** （うち解答時間 30 分） (100 点) 『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』 【筆記】 80 分(200 点)
情報		『情 報 Ⅰ』		60 分(100 点)

（備考）『　』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し，「　」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表します。

また，『地理総合／歴史総合／公共』や『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』にある“／”は，一つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することを表します。

（注１）　『国語』の分野別の大問数及び配点は，近代以降の文章が 3 問 110 点，古典が 2 問 90 点（古文・漢文各 45 点）とします。

（注２）　地理歴史及び公民で 2 科目を選択する受験者が，(b)のうちから 1 科目及び(a)を選択する場合において，選択可能な組合せは以下のとおりです。

・(b)のうちから『地理総合，地理探究』を選択する場合，(a)では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
・(b)のうちから『歴史総合，日本史探究』又は『歴史総合，世界史探究』を選択する場合，(a)では「地理総合」及び「公共」の組合せ
・(b)のうちから『公共，倫理』又は『公共，政治・経済』を選択する場合，(a)では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ

［参考］地理歴史及び公民において，(b)のうちから 1 科目及び(a)を選択する場合に選択可能な組合せについて

○：選択可能　×：選択不可

		(a)		
		「地理総合」「歴史総合」	「地理総合」「公共」	「歴史総合」「公共」
(b)	『地理総合，地理探究』	×	×	○
	『歴史総合，日本史探究』	×	○	×
	『歴史総合，世界史探究』	×	○	×
	『公共，倫理』	○	×	×
	『公共，政治・経済』	○	×	×

（注３）　地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において 2 科目を選択する場合は，解答順に第 1 解答科目及び第 2 解答科目に区分し各 60 分間で解答を行いますが，第 1 解答科目及び第 2 解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とします。

（注４）　【リスニング】は，音声問題を用い 30 分間で解答を行いますが，解答開始前に受験者に配付した IC プレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加えた時間を試験時間とします。

なお，『英語』以外の外国語を受験した場合，【リスニング】を受験することはできません。

3　試験期日・試験時間割

試験期日	出題教科	出題科目	試験時間（注 1，2）
令和 8 年 1 月 17 日（土）	地理歴史 公　　民	『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』 『公共，倫理』 『公共，政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』（注 3）	2 科目受験 9:30～11:40 （注 4） 1 科目受験 10:40～11:40 （注 4）
	国　　語	『国語』	13:00～14:30
	外 国 語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	『英語』 【リーディング】 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 【筆記】 15:20～16:40
			『英語』 【リスニング】 17:20～18:20
1 月 18 日（日）	理　　科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（注 3） 『物理』『化学』『生物』『地学』	2 科目受験 9:30～11:40 （注 4） 1 科目受験 10:40～11:40 （注 4）
	数 学 ①	『数学Ⅰ，数学 A』『数学Ⅰ』	13:00～14:10
	数 学 ②	『数学Ⅱ，数学 B，数学 C』	15:00～16:10
	情　　報	『情報Ⅰ』	17:00～18:00

（注 1）　試験室への入室終了時刻については，12 月上旬に大学入試センターのウェブサイト（➔裏表紙）に掲載する「**受験上の注意**」に明示します。

（注 2）　試験開始時刻に遅刻した場合は，試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り，受験を認めます。ただし，リスニングは，試験開始時刻（17:20）までに入室していない場合は受験することができません。

（注 3）　『地理総合／歴史総合／公共』及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は，試験時間 60 分で必ず二つの出題範囲を選択解答してください。解答する順序，時間配分は自由です。

（注 4）　「地理歴史，公民」及び「理科」については，登録した科目数（1 科目又は 2 科目）によって試験開始時刻が異なります。**「2 科目受験する」と登録した場合は，試験当日に 1 科目のみを受験する（1 科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。このため，遅刻者の試験室への入室限度（9:50）までに入室していないと，後半の第 2 解答科目を含めて，その試験時間は一切受験することができません。また，第 1 解答科目のみ受験し，途中退室することもできません。**
なお，第 1 解答科目と第 2 解答科目の間の 10 分間は，トイレ等で一時退室することはできません。

4　受験教科の事前登録

志望大学の利用教科・科目の確認

大学入学共通テストを利用する各大学は，入学志願者が大学入学共通テストにおいて解答すべき教科・科目や，その成績の入学者選抜における取扱いなどをそれぞれ定めています。

志望大学の募集要項等をよく確認の上，大学入学共通テストの出願及び受験をしてください。

⑴　受験教科及び科目数等の登録

大学入学共通テストの受験教科等については，あらかじめ，以下の事項を出願時に登録する必要があります。

①　**受験教科**
②　**地理歴史，公民の受験科目数**
③　**理科の受験科目数**
④　**「外国語」の別冊子試験問題の配付希望**

これらの登録を正しく行わないと，**希望する教科・科目を受験することができません**ので，下記⑵に示す注意事項をよく理解した上で，正しく登録してください。

登録した内容の確認・訂正については，10 月 10 日（金）10：00～10 月 17 日（金）17：00 の出願内容の確認・訂正期間内に，共通テスト出願サイトのマイページ上で行ってください（➔p.40）。

出願内容の確認・訂正期間終了後は，受験教科及び科目数等を訂正することができません。

⑵　受験教科及び科目数等の登録に当たっての主な注意事項

以下の注意事項は，出願に当たって特に注意が必要な事項ですので，よく理解した上で，**受験教科及び科目数等**を登録（➔p.36）してください。

①　**受験教科**

ア　大学入学共通テストの出題教科は，**国語**，**地理歴史**，**公民**，**数学**，**理科**，**外国語**，**情報**の 7 教科です。試験当日は，登録していない教科は受験できません。万一，登録していない教科を受験してもその教科は採点されません。

イ　**地理歴史**及び**公民**については，同一の試験時間に実施しますので，出願時には，この 2 教科を「地理歴史，公民」の 1 教科として登録します。

ウ　**数学**については，試験時間を「数学①」と「数学②」のグループに分けて実施します。数学を受験教科として登録した場合は，「数学①」及び「数学②」の両方又はいずれか一方のみ受験することが可能です。

②　**地理歴史，公民の受験科目数**

地理歴史，公民を受験する場合は，受験する科目数（1 科目又は 2 科目）を登録します。

試験当日は，登録した受験科目数に従って，地理歴史と公民を合わせた 6 科目の中から選択し，解答することができます。

※　『地理総合／歴史総合／公共』は，「地理総合」「歴史総合」「公共」の三つの出題範囲の中から二つを選択解答しますが，科目数としては 1 科目です。

※　登録した受験科目数を試験当日に変更することはできません。

③　理科の受験科目数

理科を受験する場合は，受験する科目数（1 科目又は 2 科目）を登録します。

試験当日は，登録した受験科目数に従って，5 科目の中から選択し，解答することができます。

※　『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は，「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つの出題範囲の中から二つを選択解答しますが，科目数としては 1 科目です。

※　登録した受験科目数を試験当日に変更することはできません。

④　「外国語」の別冊子試験問題の配付を希望する場合

ア　「外国語」の『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』を受験する場合は，出願時に，別冊子試験問題の配付希望を登録する必要があります。

イ　別冊子試験問題の配付を希望した場合でも，「外国語〔『英語（リーディング）』〕」の問題冊子も併せて配付されますので，『英語（リーディング）』を選択解答することもできます。

受験教科等の登録 ＜Q＆A＞

Q1 出願時に「地理歴史，公民」を「受験しない」として登録しましたが，「1 科目受験する」に訂正することはできますか？

A 出願内容の確認・訂正期間（10 月 10 日(金)10：00～10 月 17 日(金)17：00）内であれば，共通テスト出願サイトのマイページ上で，受験教科等の登録内容を訂正することができます（➔p.40）。
なお，この期間経過後は，登録教科の訂正は一切できませんので注意してください。

Q2 試験当日に，受験教科として登録されていない教科を受験することができますか？

A **できません。**
万一，試験当日に登録していない教科を受験しても，その教科は採点されません。

Q3 「受験する」として登録されている教科の受験を，試験当日になって取りやめることはできますか？

A 試験時間単位で受験を取りやめることができます。
受験を取りやめた場合，その試験時間の科目は受験しなかったものとして取り扱います。0 点として採点されることはありません。

Q4 数学を「受験する」として登録されている場合，「数学①」と「数学②」のどちらか片方だけ受験することもできますか？

A できます。
受験しない試験時間の科目は受験しなかったものとして取り扱います。0 点として採点されることはありません。

Q5 『地理総合／歴史総合／公共』及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において，一つの出題範囲のみ選択解答することはできますか？

A **できません。**
『地理総合／歴史総合／公共』及び『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は，試験時間 60 分で必ず二つの出題範囲を選択解答してください。
なお，解答する順序，時間配分は自由です。

Q6 「理科」において「化学基礎」と「生物基礎」のみを受験する場合，「1科目受験する」と登録したらよいですか？

A そのとおりです。
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は，「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つの出題範囲の中から二つを選択解答しますが，科目数としては 1 科目です。

Q7 「地理歴史，公民」を「2 科目受験する」として登録しましたが，試験当日に 1 科目のみを受験することはできますか？

A 「地理歴史，公民」を「2 科目受験する」と登録した場合，2 科目分の解答時間を合わせて一つの試験時間としているので，試験当日に 1 科目のみを受験する（1 科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。「2 科目受験する」と登録した場合，必ず 2 科目分を採点（前半の 60 分を第 1 解答科目，後半の 60 分を第 2 解答科目として採点）します。
同様に，「1 科目受験する」と登録した場合，試験当日に 2 科目を受験することもできません（**「理科」についても同様です。**）。

Q8 「地理歴史，公民」から 2 科目受験する場合，選択不可な組合せはありますか？

A 2 科目受験する場合，『公共，倫理』と『公共，政治・経済』を組み合わせて選択することはできません。

また，『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合，選択解答するものと同一名称を含む出題科目を選択することができません（➔p.6）。（例えば，**第 1 解答科目で『地理総合／歴史総合／公共』を選択し，「地理総合」及び「公共」を選択解答した場合，第 2 解答科目で『地理総合，地理探究』，『公共，倫理』及び『公共，政治・経済』を選択解答することはできません。**）

（解答順は順不同）		(b)必履修科目と選択科目を組み合わせた出題科目					(a)必履修科目を組み合わせた出題科目		
							『地理総合／歴史総合／公共』（三つのうち二つを解答）		
		『地理総合，地理探究』	『歴史総合，日本史探究』	『歴史総合，世界史探究』	『公共，倫理』	『公共，政治・経済』	「地理総合」と「歴史総合」	「地理総合」と「公共」	「歴史総合」と「公共」
(b)	『地理総合，地理探究』		○	○	○	○	×	×	○
	『歴史総合，日本史探究』	○		○	○	○	×	○	×
	『歴史総合，世界史探究』	○	○		○	○	×	○	×
	『公共，倫理』	○	○	○		×	○	×	×
	『公共，政治・経済』	○	○	○	×		○	×	×

○は選択可能な組合せ，×は選択不可な組合せ

※ (b)の5科目のうちから1科目及び(a)の計2科目を受験する場合は，『地理総合／歴史総合／公共』の中で選択解答するものと同じ名称を含む科目は選択できません。

※ (b)の5科目のうちから計2科目を受験する場合は，『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せは選択できません。

Q9 「理科」から 2 科目受験する場合，選択不可な組合せはありますか？

A 「理科」については，選択不可な組合せはありません。

ただし，大学によっては科目選択の組合せに制限をしている場合もありますので，志望大学の募集要項等で，大学入学共通テストの「理科」の取扱いをよく確認してください。

なお，『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は 1 科目なので，2 科目受験する際，2 科目とも『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択し，出題範囲を変えて解答することはできません。（例えば，**第 1 解答科目で「物理基礎」と「化学基礎」，第 2 解答科目で「生物基礎」と「地学基礎」を解答することはできません。**）

Q10 高等学校では履修していない科目を選択し，解答することはできますか？

A できます。

大学入学共通テストでは，高等学校での履修の有無により受験科目を制限することはありません。ただし，大学によっては，認めていない場合もありますので，志望大学の募集要項等で，大学入学共通テストの科目選択の取扱いをよく確認してから受験してください。

5　リスニング

⑴　リスニングの概要

①　リスニングを実施する教科・科目

リスニングは外国語『英語』の一領域として実施します。外国語において『英語』を選択する受験者は，原則として，リーディングとリスニングの両方を受験してください。

なお，『英語』以外の外国語を受験した場合，リスニングを受験することはできません（➔p.7）。

②　試験時間・解答時間

リスニングは，試験場で配付される IC プレーヤーとイヤホンを使用し，受験者が個々に音声を聞き取りながら解答する試験です。音声は，左右とも同一の音声がモノラルで流れます。

また，試験時間 60 分の中で，解答開始前に IC プレーヤーの操作準備・作動確認・音量調節を受験者本人が行った後，30 分間で解答します（➔p.14）。

なお，リーディングとリスニングの間には，休憩時間が設けられています。

③　聞き取る英語音声の流れる回数

聞き取る英語の音声を 2 回流す問題と，1 回流す問題があります。流す回数は下表のとおりです。

問題	第 1 問	第 2 問	第 3 問	第 4 問	第 5 問	第 6 問
流す回数	2 回	2 回	1 回	1 回	1 回	1 回

④　リスニングにおける受験上の配慮

病気・負傷や障害等のために，リスニングにおいて配慮を希望する者は，受験上の配慮を申請してください（➔p.18）。

⑤　イヤホン不適合措置

リスニングで使用するイヤホンが耳に装着できないため，ヘッドホンの貸与を希望する場合は，出願時に「イヤホン不適合措置」を申請してください（➔p.27）。上記④のリスニングにおける受験上の配慮とは申請方法が異なりますので注意してください。

なお，試験当日にイヤホンが耳に装着できないと申し出ても，対応できません。

⑵　リスニング受験上の注意

① リスニングでは，遅刻者の試験室への入室限度が他の試験時間と異なります。**試験開始時刻（17:20）までに入室していない場合は受験することができない**ので十分注意してください。

② リスニングでは，他の受験者の聞き取りに支障を来す不必要な音をたてることがないよう注意してください。

③ IC プレーヤーのボタンを長く押し続けてもランプが光らなかったり，音声が流れなかったりした場合，音声が途中で停止するなど聞き取れなくなった場合，問題冊子の乱丁，落丁や印刷不鮮明で解答に支障がある場合は，ためらわずに黙って手を高く挙げて，監督者に知らせてください。

なお，**試験が終わってからこれらを申し出ても，救済措置（再開テスト）はありません**（➔p.17）。

④ 解答時間中の質問は，一切受け付けません。

⑶　リスニングの進行

①　リスニングの進行の概要

英語(リーディング)試験

16:40　英語（リーディング）試験終了

この休憩時間中に

●携帯電話やスマートフォン，時計など音の出る機器のアラーム設定を解除し，機器の電源を切る。

17:15　受験者入室終了

17:20　試験開始　（＊この時刻までに必ず入室）

●問題冊子，解答用紙配付
●解答用紙に，受験番号・氏名・試験場コードを記入・マークする。
●IC プレーヤー，イヤホン，音声メモリー配付
●監督者の指示に従い，IC プレーヤーの操作準備を行う。

確認はじめ（監督者指示）

確認音声
（約 2 分間）

●確認音声（試験問題ではない）を聞いて，IC プレーヤーが正常に動くことを確認し，音量を調節します。

解答はじめ（監督者指示）

問題音声
（約 30 分間）

●再生ボタンを押した後は，試験終了まで自動的に音声が流れるので，問題音声の進行に従って，問題を解答します。
この試験では，聞き取る英語の音声を 2 回流す問題と，1 回流す問題があります。また，問題音声には，問題文を読むため，または解答をするために音声が流れない時間があります。
●解答は，必ず設問ごとに解答用紙にマークします。問題冊子に記入しておいて，解答時間の途中や最後にまとめて解答用紙にマークしてはいけません。

解答やめ（監督者指示）

18:20　試験終了

●答案回収
●IC プレーヤー・イヤホン・音声メモリー回収

受験者退室

【IC プレーヤーの操作】

1　監督者の指示後，解答用紙裏面のイラスト（➔p.15）に従い，「電源ボタン」を「電源ランプ」が緑に光るまで長く押し続ける。

2　監督者の指示後，解答用紙裏面のイラスト（➔p.15）に従い，イヤホンを耳につけ，「確認ボタン」を，「作動中ランプ」が赤く光るまで長く押してから，音声を聞きながら音量つまみを回して音量を調節する。

音声中の指示でいったんイヤホンを耳から外す。

3　監督者の解答開始の指示後，解答用紙表面のイラスト（➔p.15）に従い，イヤホンを耳につけ，「再生ボタン」を，「作動中ランプ」が赤く光って音声が聞こえるまで長く押し続ける。

＊音声に不具合等があれば，ためらわずに，黙って手を高く挙げる（➔p.17）。

音声中の指示でイヤホンを耳から外す。

②　試験終了後の IC プレーヤー等の取扱い

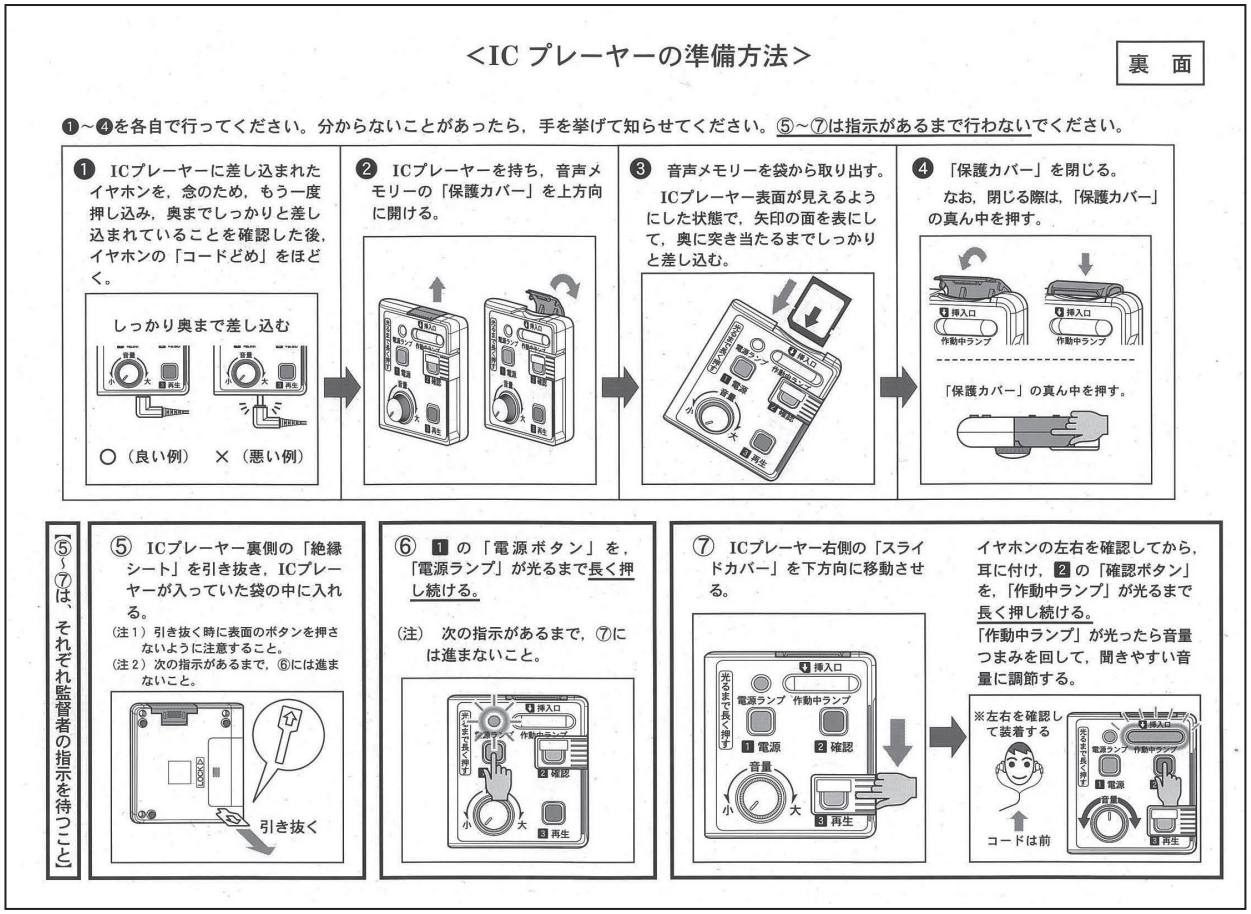
IC プレーヤー，イヤホン及び音声メモリーは，試験終了後に回収します。これらを試験室から持ち出すと，不正行為となることがあります（➔p.50）。ただし，問題冊子は持ち帰ってください。

なお，問題音声は，試験終了後に大学入試センターのウェブサイト（➔裏表紙）で確認することができます。

③　IC プレーヤーの操作

ICプレーヤーの操作は，解答用紙裏面及び表面のイラストに従い行います。このうち，❶～❹の操作については，受験者本人が行います。⑤～⑦及び表面のイラストの操作については，それぞれ監督者の指示があるまで行ってはいけません。

【リスニング解答用紙裏面】



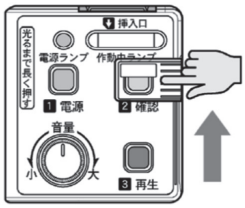
【リスニング解答用紙表面（抜粋）】

「解答はじめ」の指示があったら，次の手順で操作すること。

解答開始時の操作手順

1　イヤホンの左右を確認しながら，耳に付ける。

2　「スライドカバー」を上方向に移動させる。



3　3 の「再生ボタン」を「作動中ランプ」が光るまで長く押し続ける。

以後は，問題音声の進行に従って，解答しなさい。

【参考】　各部の名称

（注）　配付時は「確認ボタン」の上に配置され，「確認ボタン」を押す直前に「再生ボタン」の位置までスライドさせます。
　同様に「再生ボタン」を押す直前に「確認ボタン」の位置にスライドさせます。

④　IC プレーヤーの操作の注意点

ア　IC プレーヤーは各ボタンを単にひと押しただけでは，作動しません。1 電源ボタンは電源ランプが緑に光るまで，2 確認ボタンと 3 再生ボタンは作動中ランプが赤く光るまで，**長く押し続けます。**

イ　1 電源ボタン，2 確認ボタン，3 再生ボタンの順番を守らない操作は受け付けません。「確認ボタン」を押し，確認音声を聴取した後でないと「再生ボタン」を押しても問題音声は流れません。

ウ　各ボタンを押した後に音声メモリーを引き抜くと，再び音声を再生することができません。音声メモリーを差し込み，保護カバーを閉じた後は，保護カバーを開けないでください。

エ　IC プレーヤーには「一時停止」，「早送り」，「巻き戻し」の機能はありません。

⑷　IC プレーヤーの操作体験

大学入試センターのウェブサイトの「英語リスニングについて」にある「IC プレーヤー操作ガイド」では，IC プレーヤーの操作を体験することができます。IC プレーヤーの三つのボタンの長押しの方法，操作上の注意事項やリスニングの流れが分かるようになっています。

⑸ 解答時間中の事故等と再開テスト

① 解答時間中の事故等への対応

ア　IC プレーヤーのボタンを長く押し続けてもランプが光らなかったり，音声が流れなかったりした場合，音声が途中で停止するなど聞き取れなくなった場合，問題冊子の乱丁，落丁や印刷不鮮明で解答に支障がある場合は，ためらわずに黙って手を高く挙げて，監督者に知らせてください。

なお，**試験が終わってからこれらを申し出ても，救済措置（再開テスト）はありません。**

イ　解答時間中に挙手した場合の監督者との意思伝達については，周囲の受験者の解答の妨げにならないよう監督者から手渡される所定の用紙を使用して，筆談で行います。

ウ　IC プレーヤーの不具合等を申し出た受験者については，申出の内容や再開解答番号（試験が中断した時点で解答していた番号）について確認した上で，試験終了後に「再開テスト」を実施します。

エ　体調不良等により退室が必要となる受験者がいる場合は，監督者から周囲の受験者に対し，試験の中断を指示することがありますので，その際は，監督者の指示に従ってください。中断を指示された受験者は「再開テスト」を受験することができますので，試験終了まで静かに待機していてください。

② 再開テスト

解答時間中に，解答が続行できないような IC プレーヤーの不具合や不慮の事故等があった場合には，監督者の指示で試験を中断することがあります。このような場合には，リスニングの試験終了後，別の IC プレーヤーを使って当初解答していたものと同じ試験問題により，中断した設問から試験を再開します（この試験を「再開テスト」といいます。）。

なお，**解答時間中に日常的な生活騒音等（監督者の足音・監督業務上必要な打合せなど，航空機・自動車・風雨・空調の音など，周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など，携帯電話や時計等の短時間の鳴動，イヤホンやヘッドホンからの音漏れ，周囲の建物のチャイム音など）が発生し，解答に支障があったと申し出ても，「再開テスト」の対象とはなりません。**

6　障害等のある方への受験上の配慮

⑴　大学入学共通テストの受験に際し，病気・負傷や障害等のために，解答方法，試験室，座席及び所持品等について，⑵のような配慮を希望する志願者は，令和 7 年 7 月 1 日(火)～10 月 3 日(金)必着（又は 10 月 1 日(水)消印有効）までに出願手続とは別に**郵送で**申請してください。志願者からの申請に基づき，大学入試センターで審査の上，受験上の配慮事項を決定します。決定に当たっては，個々の症状や状態等を総合的に判断します。

この申請がなければ，各試験場では受験上の配慮を行いません。日常生活において使用している補聴器，松葉杖，車椅子等の使用を希望する場合も，受験上の配慮の申請が必要となりますので，申請し忘れのないよう十分に注意してください。

なお，⑶に示すものは，受験上の配慮の申請は不要です。

受験上の配慮の対象となる者や配慮の具体的な内容，申請方法等は**「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」**に掲載しています。入手方法については，⑸を参照してください。

⑵　区分別受験上の配慮事項の例

各区分の代表的な配慮事項の例は下表のとおりです。申請の際は必ず「受験上の配慮案内」を参照し，必要な配慮事項を申請してください。

区　分	対象となる者	配慮事項（例）
①　視覚障害	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね 0.3 未満の者のうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度の者のうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	・点字解答（点字問題冊子の配付） ・文字解答 ・試験時間の延長 ・拡大文字問題冊子（14 ポイント・22 ポイント）の配付 ・拡大鏡等の持参使用 ・窓側の明るい座席を指定 ・照明器具の持参使用又は試験場側での準備
②　聴覚障害	・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	・手話通訳士等の配置 ・注意事項等の文書による伝達 ・座席を前列に指定 ・補聴器又は人工内耳の装用 ・リスニングの免除 ・リスニングにおける音声聴取の方法を変更
③　肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	・チェック解答　・代筆解答　・試験時間の延長 ・試験室入口までの付添者の同伴 ・介助者の配置 ・1 階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 ・トイレに近い試験室での受験 ・車椅子，杖，特製机・椅子の持参使用又は試験場側での準備 ・試験場への乗用車での入構
④　病弱	・慢性の呼吸器疾患，心臓疾患，腎臓疾患，消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	・1 階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 ・座席を試験室の出入口に近いところに指定 ・別室の設定
⑤　発達障害	・学習障害，注意欠如・多動症（注意欠陥多動性障害），自閉スペクトラム症（自閉症，アスペルガー症候群，その他の広汎性発達障害等）等のため配慮を必要とする者	・試験時間の延長（マークシート解答） ・チェック解答 ・拡大文字問題冊子（14 ポイント・22 ポイント）の配付 ・注意事項等の文書による伝達　・別室の設定
⑥　その他	・①～⑤の区分以外で配慮を必要とする者	・トイレに近い試験室での受験 ・座席を試験室の出入口に近いところに指定 ・別室の設定

⑶　受験上の配慮を申請せずに使用できるもの

次のものは受験上の配慮を申請せずに使用できます。

① サポーター，テーピング，包帯，湿布，ギプス，眼帯，コルセット
　※　試験時間中に着脱する場合は，監督者に申し出て許可を得てください。

② 白杖
　※　白杖以外の杖の持参使用を希望する場合は申請が必要です。

以下の③については，試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。

③ 座布団，クッション，タオル，ひざ掛け，手袋（多汗症用を含む。）
　※　病気・負傷や障害等のために試験開始前に監督者に申し出ることが困難な場合は，受験上の配慮の申請をすることもできます。
　※　英文字や地図等がプリントされているものは使用しないでください。

⑷　受験上の配慮に関する事前相談

大学入試センターでは，大学入学共通テストの受験上の配慮に関する事前相談を随時受け付けています。

〈問合せ先〉
独立行政法人大学入試センター事業第１課
TEL　03－3465－8600
（9:30～17:00　　土・日曜，祝日，12月29日～1月3日を除く）
FAX　03－3485－1771
（電話での問合せが難しい障害等のある方専用ＦＡＸ）

⑸　「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」の入手方法

受験上の配慮を希望する志願者は，できるだけ早い時期に「受験上の配慮案内」を大学入試センターのウェブサイト（➔下記 URL）から入手してください（大学等では配付していません。）。

なお，申請に必要な申請書等の様式のダウンロードには，マイページの作成（➔p.32）が必要です。詳細は「受験上の配慮案内」を確認してください。

「受験上の配慮案内〔障害等のある方への配慮案内〕」掲載ページ
https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r8/r8_hairyo.html

【受験上の配慮の申請の流れ（例）】

①「受験上の配慮案内」の入手	②申請内容の検討	③申請書類の入手	④申請書類の準備	⑤申請（郵送）
大学入試センターのウェブサイトより，「受験上の配慮案内」を入手してください。	申請する配慮の内容を保護者や高等学校等と相談してください。	共通テスト出願サイトでマイページを作成（➔p.32）後，申請に必要な書類をダウンロードし，印刷してください。	保護者や高等学校等と相談しながら，必要書類を準備してください。	【第1期】 7月1日(火)～8月29日(金)必着 （又は8月27日(水)消印有効） 【第2期】 9月1日(月)～10月3日(金)必着 （又は10月1日(水)消印有効）

⑹　申請期間

希望する配慮事項によっては審査に時間がかかる場合もあるため，受験上の配慮については，**出願期間前から申請を受け付けます。できるだけ早めに申請してください。**

受験上の配慮を申請する期間により，審査結果を通知する時期が異なります。9月22日(月)までに審査結果の通知を希望する場合は，第1期（7月1日(火)～8月29日(金)**必着**（又は8月27日(水)消印有効））に申請してください。

申請区分	申請期間	審査結果通知
第1期 （出願期間内に審査結果の通知を希望する場合）	令和7年7月1日(火)～8月29日(金)必着 （又は8月27日(水)消印有効）	9月22日(月)までに送付
第2期	令和7年9月1日(月)～10月3日(金)必着 （又は10月1日(水)消印有効）	11月下旬に送付（出願した場合のみ）

なお，受験上の配慮を申請しただけでは大学入学共通テストに出願したことにはなりません。出願する場合には，この手続のほかに，必ず出願期間内（9月16日(火)～10月3日(金)）に出願手続（➔p.31）を行ってください。

⑺　出願後の不慮の事故等による受験上の配慮の申請

出願時までに申請する受験上の配慮のほか，出願後の不慮の事故等（交通事故，負傷，発病，症状の悪化等）のための受験上の配慮の申請があります（➔p.47）。

この申請は，申請する理由が出願後に発生した場合に限り行うことができるものです。したがって，出願時までに申請すべき内容であった場合には対象となりません。

⑻　志望大学との事前相談

障害等の種類と程度によっては，各大学が実施する教科・科目に係る個別テスト等や修学上（入学後の大学生活等）の配慮が必要となることがありますので，別途，**志望大学**が定めている期日までに相談してください。